

希望の種  
ふくおか  
NPOファイル

②⑤

「学校に行かないことは、悪いことじゃない」。そんな思いを持つ元学校教員などが集まり、2005年に設立されたのがフリースクール「NPO法人箱崎自由学舎ESPERANZA(以下、えすぺらんざ)」(福岡市東区)です。

## 箱崎自由学舎 ESPERANZA

事務所=福岡市東区▽電話番号=092(643)8615  
メールアドレス=info@esperanzahp.jp

# 子ども の未来を開く

通して学べる場にもなっています。年間を通じた農業体験、ランチクッキング、文化芸術鑑賞、スポーツアクティビティなど、様々な活動が行われ、子どもたちの居場所と友人たちとのつながり、自信を取り戻して自分を好きになる機会を提供しています。

福岡県の「平成27年度 学校基本統計情報 学校基本調査の結果確認」によると、県内の中学校における平成26年

える「教員」たちの指導の判断基準をきちんと明確化するため、毎朝の職員会議や、自己研さんのための月1回の内部研修も欠かしません。

度の不登校による長期欠席者(年度中に30日以上欠席した者)は、4217人、全生徒の2・97%、つまり約100人に3人に上ります。現在は学校に通っているけれど、居場所がない、行きたくないと悩む「予備軍」の子どもたち

を含めると、かなりの数になると考えられます。えすぺらんざで社会科を担当する上村一隆さん(43)は、スタッフの中では異色の元企業経営者。その経験を生かして、目の前の子どもへの寄り添いに加え、団体内部の仕組み

に決めることであり、僕たちができるのは多くの選択肢を提供することです」と語ります。



えすぺらんざの授業の様子

づくりのほか、行政窓口や他のフリースクールなど外部組織の最新情報収集とネットワークにも携わっています。

「えすぺらんざ」とは、スペイン語で、「希望」「夢」の意味。もし、学校に居場所がなくなったりしても、子どもたちの生きる未来には多くの可能性が開かれていることを、忘れないでいてほしいという願いを感じました。

上村さんは「スクールは不登校の子を学校に行かせることだけが目的ではありません。自分たちのフリースクールに自信は持っていますが、必ずしもベストだとも思っていない。何が良いかは子ども自身が、ご両親と話し合っ

代表理事 永田賢介